



# 2013年6月期 中間決算

## セールスマックスの改善により収益力が拡大

前期特需の反動、価格競争の激化、天候不順などのマイナス影響が続いた環境下で、プライベートブランド(PB)商品などを中心とした採算性の良い商品のセールスマックスを最適化させて利益を確保しました。また交差主義比率を重視する施策により、「在庫削減」と「収益力増加」を同時に進めて、効率改善に努めました。

### 売上高

**2,896** 億円

食品や日用雑貨品等のコモディティ系商品の対応は、お客さまの信頼と支持をより強固にする一方で、時計・ファッション用品や非日常系商品などでお客さまの「買い物脳」を刺激したことから、販売動向は堅実に推移しました。女性及び中高年齢層のお客さまに向けた商品提案も奏功し、売上高は2,897億円(前期比4.6%増)で着地しました。

### 営業利益

**187** 億円

新規出店は地方展開と大型化を進め、既存店においては時流の変化や商圏ごとの競合状況に沿った最適なセールスマックスを追及。半面、新規出店に係る諸費用や光熱費などの販管費増加要因があったものの、コストコントロールを駆使して、売上総利益増加額以下に留めたことから、187億円(同8.5%増)の営業増益を達成しました。

### 経常利益

**191** 億円

営業増益に加えて、営業外損益収支戻りが4億円のプラス(前期は8億円のマイナス)になったことから、経常利益は191億円(同16.0%増)となり、大幅増益を達成しました。

### 当期純利益

**118** 億円

前第1四半期に特別利益の計上があった反動により、当期純利益は118億円(同1.3%減)となりましたが、当第2四半期(10~12月期)は67億円(27.5%増)となり、同期間比14億円挽回しております。

### 総資産

**3,945** 億円

店舗増に伴う棚卸資産及び次期以降の出店物件を含む有形固定資産の増加などにより、総資産は3,945億円(前期末比318億円増)となりました。商品在庫は交差主義比率(粗利率×在庫回転率)を重視した営業施策により、過去1年間の売場面積7.6%の増加に対して1.0%減と抑制することが出来ました。

### 純資産

**1,557** 億円

利益剰余金の積み増しなどにより、純資産は1,557億円(前期末比99億円増)となりました。なお、自己資本比率は38.8%、DEレシオは87.5%(前期比22.3ポイント改善)となりました。

### EPS

**152.64** 円

1株当たり当期純利益(EPS)は、152.64円(同2.26円減)となりました。

### ROE

**15.9** %

自己資本当期純利益率(ROE)は年率換算で15.9%となりました。

### お買上客数

**12,469** 万人

当社グループ各店舗をご利用いただきましたお客様(レジ通過客数)は、半年間で1億2,469万人(同609万人増)となりました。来店されるお客さまの60%以上を女性が占めています。

### 店舗数

**249** 店

新規出店はドン・キホーテ4店、MEGA5店の合計9店舗を実施。グループ全体の店舗数は国内42都道府県246店舗、米国ハワイ州の3店舗を含めると249店舗となりました。

### 売場面積

**713,145** m<sup>2</sup>

2012年12月末時点の売場面積は、新規出店などにより713,145m<sup>2</sup>(4.2%増)と、前期末と比較して28,745m<sup>2</sup>増加しました。

### 中間配当金

**10** 円

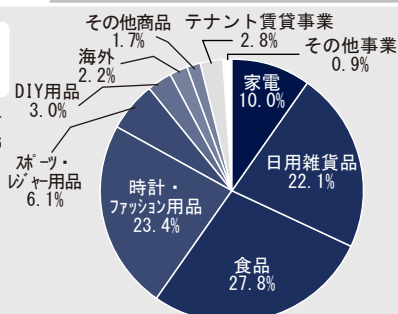
中間配当は1株当たり10円を実施いたしました。なお、中間配当を含めた年間配当は1株当たり31円を予定しております。

### 商品点数

**69,676** 万点

当社グループが当期間にお客様の手に届けた商品点数は6億9,676万点(国内のみ)となりました。

#### 商品分類別売上高構成比



### 株主数

**3,574** 名

株主数は前期末に比べて390名減少し3,574名となりましたが、外国人株主の保有比率は60.8%と同4.7ポイント上昇しました。当社が展開するビジネスモデルの独創性や経営の革新性を源泉とする強い競争力が、高い評価につながったものと考えております。

#### 株主分類別持株数構成比

